

## 令和3年度 大阪市立田辺中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

### 1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日	生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
		国語	数学	国語	数学
3年	学校	181	69	68	2.0 5.8
	大阪市	—	61	55	5.1 12.3
5月27日	全国	—	64.6	57.2	4.4 11.2

# 令和3年度 大阪市立田辺中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

## 調査結果から

### ○全国学力・学習状況調査結果

#### 【成果と課題】

##### <国語>

全国と比較して、「書くこと」領域において、全国平均正答率74.5%に対し、本校は81.2%であった。

・対話的な学習を進めてきたため、話し合いの話題や方向を捉えることはよくできていた。

・漢字や適切な意味を捉える問題はよくできており、とくに漢字の読みは95%以上の正答率であった。

・話し合いの話題や方向をとれることはできるが、自らの考えを根拠をもって「書く」ことには課題がある。

1三のみ、全国平均を下回った。

##### <数学>

全国と比較して、「関数」領域において、全国平均正答率48.0%に対し、本校は65.4%であった。

・すべての領域で全国平均正答率を大きく上回っている。特に問題9の図形の領域に関しては、本校は全国平均正答率より約15～20%上回っている。図形領域の内容がかなり定着できている。

・記述問題で無解答率が高い問題がある。

#### 【今後に向けて】

##### <国語>

・朝学習や漢字テストなど、基礎知識の定着を継続する。

・作文指導など、生徒自身が文章の書き方を見直し改善できる機会をつくる。

##### <数学>

・生活の中や身の回りの出来事を数学的にとらえ解決していく力を持つために、授業でとりあげていく。

・記述式問題もさらに授業や、試験問題で取り組んでいく。

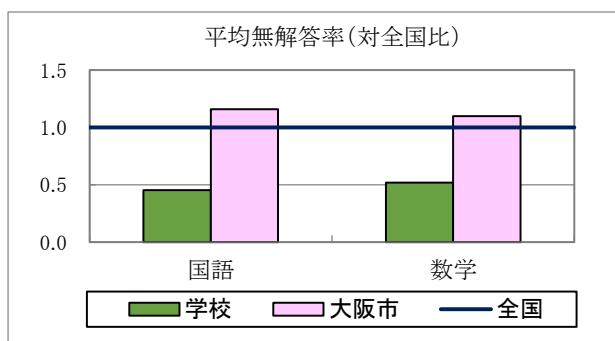
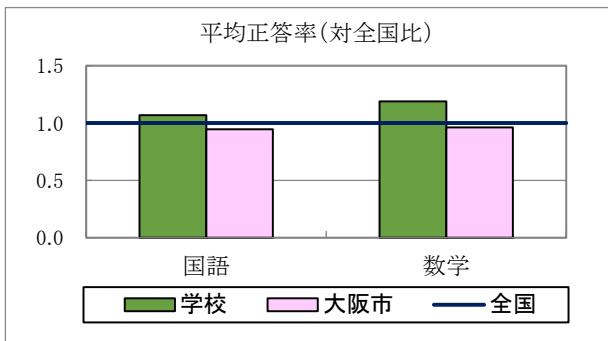
令和3年度 大阪市立田辺中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【全 体】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	69	68
大阪市	61	55
全国	64.6	57.2

平均無解答率(%)	
国語	数学
2.0	5.8
5.1	12.3
4.4	11.2



【国 語】

学習指導要領の領域等	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
話すこと・聞くこと	3	81.4	75.8	79.8
書くこと	3	61.0	53.1	57.1
読むこと	4	55.0	44.8	48.5
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	80.4	73.4	75.1

学習指導要領の領域等	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
数と式	5	76.5	61.8	64.9
図形	4	65.2	48.7	51.4
関数	3	67.0	55.2	56.4
資料の活用	4	60.6	51.2	53.8

